

正

被扶養者調書
被扶養者異動届

被保険者証記号番号	氏名	生年月日	受信
-	印	S H . .	第 号
事業主及意見欄	住所		年 月 日
			鈴与健康保険組合

被扶養者氏名	続柄	男女別	生年月日	職業	異動理由	扶養 (増・減)
住所			異動年月日	収入年額		
		男	S H . .			増 減
		女	H . .			
		男	S H . .			増 減
		女	H . .			
		男	S H . .			増 減
		女	H . .			
		男	S H . .			増 減
		女	H . .			

注意 直系尊属、配偶者、子以外の被扶養者の場合は扶養を要する事情を意見欄に記入関係書類を添付の事

鈴与健康保険組合

事業主の名称及び所在地

事業主の氏名

殿

本書の通り確認しました
平成 年 月 日

鈴与健康保険組合常務理事

副

被扶養者調書
被扶養者異動届

常務理事	事務長	係

被保険者証記号番号	氏名	生年月日	受信
-	印	S H . .	第 号
事業主及意見欄	住所		年 月 日
			鈴与健康保険組合

被扶養者氏名 住所	続柄	性別	生年月日 異動年月日	職業 収入年額	異動理由	扶養 (増・減)
		男	S H . .			増
		女	H . .			減
		男	S H . .			増
		女	H . .			減
		男	S H . .			増
		女	H . .			減
		男	S H . .			増
		女	H . .			減

注意 直系尊属、配偶者、子以外の被扶養者の場合は扶養を要する事情を意見欄に記入関係書類を添付の事

鈴与健康保険組合

事業主の名称及び所在地

事業主の氏名

印

記入上の注意

I ⑨欄の異動及び、扶養する理由については詳しく記入して下さい。尚、高校、短大、大学等に在学中の人は、「〇〇大学〇〇学部〇〇学科」の要領で記入して下さい。

II 添付書類

1. 規程第2条1項に該当する者

- (1) 各種年金・恩給の受給者（最新の決定通知書の写し等、証明出来るもの）
- (2) 勤労収入（アルバイト・内職等）のある場合は、支払い先からの証明書等の収入額の証明出来るもの。
- (3) 不動産・利子・配当等の収入のある場合（確定申告の写し等収入の証明出来るもの）
- (4) 事業所得（商売等）収入のある場合（青色申告又は、確定申告の写し等収入の証明出来るもの）上記の青色確定申告をしていない場合は、過去の実績等を書面にて申告のこと。又、今後数ヵ月の粗利益見込を提出のこと。
- (5) 認定申請対象者が退職した場合
 - (イ) 雇用保険の受給資格者で受給を受けない場合（離職票の原本）
 - (ロ) 受給期間延長手続をとっている場合（延長中の判る証明書「離職票又は、職安発行の証明書」）
 - (ハ) 雇用保険に加入していない場合は、前の会社から退職証明書、並びに雇用保険受給資格の有無の証明書
- (6) 雇用保険受給満了の場合（雇用保険受給資格等の写し）
- (7) 傷病手当・出産手当金受給中の場合（本人の申告書、「異動届に金額等記入することでよい」）
- (8) 認定申請対象者が、高等学校・大学等義務課程以上の全日制学生である場合（在学証明書又は合格通知書）
- (9) 身体障害者の場合（身体障害者手帳の写し、又は医師の診断書・民生委員の証明書）
- (10) 16才以上60才未満で無職無収入の場合（扶養理由を具体的に記入した生活実態証明書「民生委員の証明書」）
- (11) 内縁の場合（事実を証明出来るもの）
- (12) 仕送りをする場合（これからの場合は「〇〇円仕送りする誓約書」3～6ヵ月後、仕送り額を証明出来る書類を提出のこと）

2. 規程第2条2項及び3項に該当する者

同一世帯が条件の場合（同一世帯にあることを証明出来るもの、又は被保険者との関係を証明出来るもの「住民票の謄本・必要によって戸籍謄本」その他必要添付書類は上記1.に準ずる。）

- ※(1) 認定申請対象者の収入の有無を問わず収入申告書を提出すること。
- ※(2) 上記の添付書類の外に組合が認定上必要ある場合には、被保険者に連絡の上、必要書類の提出を求められることがある。